鹿児島市立桜丘中学校
令和3年7月20日

第4号

変化した「普通」に適応するしたたかさ

校長　上久保大介

コロナ禍２年目の１学期が終わろうとしています。新型コロナウィルスの蔓延により、これまで過ごしてきた「普通」は、いとも簡単に「普通」ではなくなりました。現に、３密を避けることが普通になり、マスクが普通になり、リモートが普通になっています。世界中で「デルタ株」「変異ウィルス」「第４波」などの言葉が飛び交い、感染以上に人々の不安が収まるところを知りません。「ワクチン接種」は少しずつ進んでいますが、決定打にはほど遠い様相です。コロナ禍がこんなに長引くとは１年前のどれだけの人が想像したでしょう。

学校の教育活動も大きく影響を受けました。合唱コンクールは延期になり、現在もどのような開催方法にするか検討中です。体育大会や文化祭も昨年度をベースにどのように変更するか、何度も議題に上がっています。修学旅行も県内に変更しました。しかし、生徒総会や延期になった上級学校説明会、昨年実施できなかった全校朝会は、今年はリモートで実施しています。前述の修学旅行、文化祭、合唱コンクールも知恵と工夫によって乗り越えようと努力しています。どんな苦境に立たされてもへこたれないのが人間です。苦しいときこそ人の真価が問われます。不満を述べるだけでは解決方法は見いだせません。「普通」ではない状況でも、新たな方法を考え出すことにより、よりよく過ごすことはできるはずです。今こそ変化した「普通」に適応するしたたかさが必要です。長い歴史の中で、人間は「暗い夜を明るく」してきました。変化してしまった「普通」の中で、桜丘中学校も前に進もうと日々努力をしてきた１学期でした。

さて、明日から楽しい夏休みです。昨年に引き続き、今年の夏休みもいろいろなイベントが中止になっていますが、是非、夏休みにしかできない活動に取り組んでほしいと思います。ただ、生徒たちにとっては、毎年恒例の、あまりうれしくはない夏休みの宿題も出されており、どのようにして克服するかも悩みどころです。いやなことから目を背けるのではなく、宿題に取り組む日常を「普通」にして、笑顔で新学期を迎えてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様にも様々な面においてご協力をいただき、ご心配もおかけしました。基本的に、夏休みは学校を離れ、ご家庭や地域にお返しすることになりますが、連携はきちんと図ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【地域での生徒の情報について】

地域での生徒の様子については、日頃からお電話で**お褒めの言葉**や**ご指摘**をいただき、感謝申し上げます。特に生徒の気になる面については、学校でも改善を図ってまいりますので、できればお気づきになったその場で、ご注意いただくか、すぐ学校にご連絡をくださいますようお願いいたします。情報が早ければ、それだけ早い対応ができますので、ご協力をお願いいたします。